

こむふぁ通信

Vol.3

2013年初秋号
2013.10発行

第1回 京都コムファ日常医療総括会議を8月31日に開催しました。



日常医療総括会議とは…

コムファの各薬局の1年間を振り返り、これからの1年間の薬局活動の方針を全職員で確認し合う会議で、年に1度開催されます。

昨年は、京都シグマプラン・京都ファーマでそれぞれの総括会議を行いました。

今号では、薬局毎の活動報告をご紹介します。

こむふぁクイズ

○×でご解答ください。

- Q1. 京都コムファの総括会議は年1回行われる。
- Q2. コスモス薬局は、総括会議で在宅医療について報告した。
- Q3. 「無低診」とは、「無料低額診療事業」の略
- Q4. こむふぁ通信を発行しているのは「広報委員会」である。
- Q5. 職員の学習をサポートするのは「学術・研究委員会」である。

薬局に設置してある解答用紙に答えを記入して、解答してください。正解者の中から抽選で図書カード500円分を進呈します。

応募締切 2013年11月9日(土)



ヒントは
紙面に!

京都コムファ 日常医療総括会議

みつばち薬局上賀茂店 移転・開局

大まかな流れ

- ① 12月～。プロジェクト会議発足
- ② 12月末。職員会議で待鳳店閉局が職員に通告
- ③ 1月中旬。待鳳診療所へ説明・了承を得る
- ④ 1月3週目～。患者への説明開始。
- ⑤ 2月。主に患者の次の薬局を探す。
- ⑥ 3月。電子薬歴導入。
- ⑦ 3月29日の13時に営業終了。引っ越し。

～業務診療所との共同の取り組み～

みつばち薬局待鳳店からみつばち薬局上賀茂店への2日半での薬局の閉局と移転という貴重な体験を報告しました。閉局時の患者さんへの対応・移転に伴う具体的な手順・スケジュールの紹介、開局からの流れ。その中で成功と失敗談。移転に伴う患者さんの声など、今後のみつばち薬局紫野店の移転や、新薬局の開局に向けて、参考にして頂けたらと思います。

みつばち薬局紫野店 無低診調査

無料低額診療事業対象患者における一部負担金の調査報告

～紫野診療所との共同の取り組み～

2013年9月31日
みつばち薬局紫野店
薬局長 報告

無低診を利用し、紫野診療所を受診・みつばち薬局紫野店で調剤を受けている患者さん9名を対象に、薬局での負担金支払い実情を明らかにする調査を行いました。薬局での支払い額の収入における割合は平均 3.1%。一番大きな割合は 8.8%でした。診療所で無低診を活用しても、薬局での支払いが多くては、投薬治療に支障を来すおそれもあります。現在、民医連の薬局でも無低診を導入すべく、取組を行っています。 ※無低診…無料低額診療事業の略。生活が困難な患者さんに無料 or 低額で診療を行う制度。保険薬局は制度上「医療機関」と認められておらず、導入に至っていない。

花ぐるま薬局 症例報告

患者背景: 79歳女性独居
(病名: レビー小体型認知症(疑い)、
高血圧症、糖尿病、骨粗鬆症)

■ 診療背景:
内科(糖尿)H病院、外科・神経内科K診療所

■ 薬:
内科(門前のR薬局)、外科・神経内科(花ぐるま)

■ 薬の内容
内科: R薬局による見開きノート式薬カレンダー管理
外科: 塗り薬、痛み止め、湿布、
オハプロステン、レチオン(500)
神経内科: デハケンR(200)

10年来、花ぐるま薬局との付き合いのある70歳代の独居女性患者。糖尿病、物盗られ、幻覚、妄想あり。内科・外科・神経内科に通院していましたが、認知が進み服薬が困難になったため、配薬を開始しました。曜日感覚が薄れ、予約外での受診が続いたため、往診をすすめるも、本人は拒否。ヘルパーやケアマネジャーの自宅訪問も拒否されていました。他の薬局でもらっていた内科の薬も花ぐるま薬局で調剤するようになり、きっちり服薬できるようになり、糖尿の数値は改善傾向にあります。往診は拒否しても、配薬はすぐに了承してもらえたのは、10年の信頼関係があったからだと思えます。

なごみ薬局 在宅訪問の現状・連携

服薬向上への対応ーカレンダー

- 服用困難な高齢者の依頼が多く、多くの患者さんでカレンダーに貼り出して対応している。通常の自己管理をしている方は、4人に1人位です。
- 実際には介護職員による援助をされている患者さんも多く、患者さん自身への服薬援助というより、様々な職種が、服薬確認、服薬促し、等、スムーズに援助を行うための必須のツールとなっている。
- 外来患者さんの持ち帰り用に、折り畳み式カレンダーも使用。



2013.8 現在 41名の患者さんの在宅訪問に薬剤師3名で対応しています。きちんと服薬していただくために、2/3以上の患者さんにカレンダーを利用してもらい、本人のみならず、ヘルパーさんたちの服薬援助にも力を発揮しています。また、往診元の診療所とのカンファレンスにも参加し、情報を共有しています。今後、入退院時における医療機関との連携も密にし、医療・介護のチーム全体の中で、薬局がどのような役割を果たしてゆけるのか、考えていきたいと思えます。

コスモス薬局 医薬品情報(DI)業務の紹介



医薬品情報業務とは…

1. 医薬品に関する情報について、収集・整理・保管・評価する
2. 必要時に医師・医療従事者・患者さんに提供すること
3. これらにより、医療の向上と高率化に貢献すること

製薬企業や医療関係の雑誌などから情報を得て評価し、必要な情報は患者さんに渡す「おくすりの説明」「お薬手帳」に反映しています。また、新しく入った薬の学習会を開催し、日々の仕事に生かしています。

あゆみ薬局 在宅医療



2013.5 現在 151名の在宅患者さんに対応しています。エリアは薬局を中心に半径約3km。居宅事業所23施設と連携をしています。往診医療機関以外にも、ケアマネジャーさんからの依頼も増え始めており、連携は不可欠で、デイサービス・ヘルパー・訪問看護などのサービス内容の検討を行う担当者会議へは積極的に参加しています。今後はバイタルチェックなどの取り組みもしていく予定です。



総括会議では、薬局報告の他に、法人内で活動している各種の委員会からの報告もありました。どんな委員会があるのかをご紹介します。

医療安全・整備委員会

目的
安心安全の医療を提供する。

内容
調剤時に間違いを起ささないための検討をおこなっています。

職員の皆さんは、
MLを活用して
ください



薬学生委員会

目的
学生との交流を図り、将来一緒に働く仲間を育てる。

内容
内定者・奨学生のフォローや、学生向け企画。薬学生ニュースの発行など。

お知り合いの薬学生
さんをご紹介ください!

学術・研修委員会

目的
職員の薬剤師としてのレベルアップを図る

内容
学習会企画や、研修の計画をし、職員の学習をサポートします。

次回職員学習会は
11月予定です。



広報委員会

目的
京都コムファの事を、地域のみなさんや学生など、多くの人に知ってもらう。

内容
こむふぁ通信の発行、HPの更新(ブログ)など。

これからも、こむふぁ
通信をよろしく願
います

紅葉スポット

人にはあんまり
教えない?!
私だけの



嵐山 渡月橋

前号で募集した「紅葉スポット」のご紹介です。

読者の皆さんから、京都のおす

すめを教えてくださいました。



等持院

人も少なく、ゆっくりとした時間が過ごせます。



圓光寺

書院からは、額縁に飾られた絵のような紅葉を見る事ができます。



高雄 (写真は高山寺)

少々遅めの紅葉が美しく、空気もきれいです。



宝篋院

枯山水の紅葉が真っ赤に色づきます。

参照URL

<http://www.imamiya.jp/haruhanakyoko/colored/place.htm>

<http://www.kyoto-meguri.com/momijitakao.html>

次号、こむふあ通信冬号（12月頃発行予定）では、「2014年私の抱負」についての記事を掲載予定です。是非、皆さんの来年の抱負をお聞かせください。クイズの回答と一緒に薬局備え付けの応募箱に投函してください。

お寄せください

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
たくさんのご応募ありがとうございました。



応募投書箱
コムファ各薬局に設置
しています。

前号（2013年初夏号）クイズ解答

Q1. × 今年入職は2期生

Q2. ○

Q3. × 4年制も併設されています。

Q4. ○

Q5. ○

発行 一般社団法人京都コムファ

©みつばち薬局上賀茂店©みつばち薬局紫野店©花ぐるま薬局©なごみ薬局©コスモス薬局©あゆみ薬局